

放射能測定計画（2014年4月～2015年3月） 2014年10月更新

放射能測定計画変更点：

2014年に埼玉工場のクリーンルームの増圧工事を行い、空調外気導入口を一か所追加しております。したがって、追加した空調外気導入口の空調フィルタも放射能測定を行います。こちらの測定は2015年2月を予定しており、測定頻度は1年毎となります。また、製品の放射能測定は、2014年4月時点の計画から変更はございません。

* 測定頻度変更について

震災発生より3年間、弊社製造の製品および各種部材等につきまして放射能モニタリングを行って参りましたが、震災発生後より現在に至るまで検出限界以下（またははバックグラウンドと同等）であり、また自治体にて空間線量及び水道水のモニタリング体制が確立されておりますので、弊社における測定については以下のとおり実施させて頂きます。（下記青字は、2014年4月から変更する箇所）

製品 …【変更前】3か月毎測定→【変更後】6か月毎測定。

カメラ／部品 …【変更前】2か月毎に1種類測定→【変更後】廃止。

空調フィルター …【変更前】6か月毎測定→【変更後】1年毎測定。

洗浄水(変更なし)…自社測定無し(但し、自治体の情報は随時監視、結果を毎月掲載することとする)

なお、測定方法および異常発生時の対応につきましては、下記赤字のとおりで変更はございません。

	製品	空調フィルター	備考
2014年 4月			
5月			
6月			
7月	○	○	
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
2015年 1月	○		
2月		○	※追加の空調フィルタのみ
3月			震災より4年経過

- 測定は全て外部検査機関にて実施する。
- 測定によって、国の許容限度を超える放射能が感知された場合は、日本政府・自治体に届出すると共に速やかに顧客報告と出荷停止を実施する。